

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3250736号
(U3250736)

(45)発行日 令和7年3月25日(2025.3.25)

(24)登録日 令和7年3月14日(2025.3.14)

(51)国際特許分類

F I

A 4 7 G 9/10 (2006.01)

A 4 7 G 9/10 M

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全7頁)

(21)出願番号	実願2025-282(U2025-282)	(73)実用新案権者	523016423
(22)出願日	令和7年1月27日(2025.1.27)		
			青島貝科綺家居用品有限公司
			QINGDAO BECOZY HOUSEHOLD GOODS CO., LTD
			中国山東省青島市平度市崔家集鎮張家坊村東
			East Of Zhangjiiafang Village, Cuijiaji .Town, Pingdu City, Qingdao City, Shandong Province, China
		(74)代理人	100188776
			弁理士 岩崎 吉男
		(72)考案者	孫 川
			中国山東省青島市城陽区凱豐國際金融広
			最終頁に続く

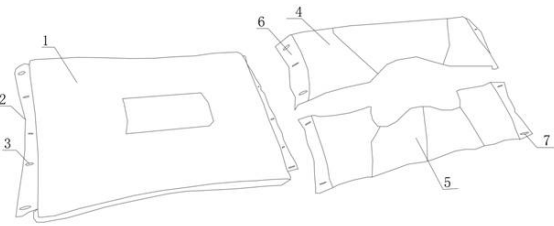
(54)【考案の名称】 取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕

(57)【要約】 (修正有)

【課題】バックル配列設計、簡単な分解、高さの自由な調整、方向の独立した選択が可能な、首ケア枕を提供する。

【解決手段】取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕は、A主枕体1を備え、A主枕体の両側辺に補助側縁帯2が対称的に固定して縫合され、補助側縁帯の頂面に均一に固定バックル本体3が固定して係合され、A主枕体の頂面に補助B枕4と補助C枕5が水平に突き合わせられ、補助B枕と補助C枕の両側辺に嵌合サイドストリップ6が対称的に固定して縫合される。補助B枕と補助C枕の弧形口を互いに突き合わせて組み合わせると、人間工学的なデザインになって、頭部の圧力を解放して、支持力がありながら柔らかく快適な包み感があり、自然に短時間で睡れ、補助B枕と補助C枕の弧形口を互いに背に向けて組み合わせると、首を支え、緩やかな枕の円弧は、肩と首の隙間によくフィットし、頸椎の生理曲線を維持し、寝返りを簡単にして寝違えることがない。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

A 主枕体 (1) を備える取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕であって、前記 A 主枕体 (1) の両側辺に補助側縁帯 (2) が対称的に固定して縫合され、前記補助側縁帯 (2) の頂面に固定バックル本体 (3) が均一に固定して係合され、前記 A 主枕体 (1) の頂面に補助 B 枕 (4) が水平に配置され、前記 A 主枕体 (1) の頂面に補助 C 枕 (5) が水平に突き合わせられ、前記補助 B 枕 (4) と補助 C 枕 (5) の両側辺に嵌合サイドストリップ (6) が対称的に固定して縫合され、前記嵌合サイドストリップ (6) の側辺に安定バックル本体 (7) が均一に固定して係合され、前記 A 主枕体 (1) の内側辺に肌に優しい通気性層 (8) が設けられ、前記肌に優しい通気性層 (8) の内側辺に第 1 模造羽毛綿 (9) が充填され、前記固定バックル本体 (3) の底端に取付バックル (10) が固定して接続され、前記補助 C 枕 (5) の内側辺に弾性ライニング層 (11) が設けられ、前記弾性ライニング層 (11) の内側辺に第 2 模造羽毛綿 (12) が充填され、前記安定バックル本体 (7) の底端に嵌合バックル (13) が固定して設けられ、前記補助 B 枕 (4) の内側辺に通気性隔離層 (14) が設けられ、前記通気性隔離層 (14) の内側辺に 3 D 粒綿 (15) が充填されることを特徴とする取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕。

10

【請求項 2】

前記 A 主枕体 (1) の生地は起毛素材で加工して設けられ、且つ A 主枕体 (1) の縁部位置にファスナー開口構造が設けられ、補助側縁帯 (2) の数は 2 つであり、且つ 2 つの補助側縁帯 (2) の規格寸法は一致して A 主枕体 (1) の 2 つの対称側辺位置に対称的に設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕。

20

【請求項 3】

前記固定バックル本体 (3) の数は複数であり、且つ複数の固定バックル本体 (3) は補助側縁帯 (2) の貫通穴の内部に互いに等間隔に貫通するように挿通して設けられ、固定バックル本体 (3) が他端の取付バックル (10) を介して補助側縁帯 (2) の側辺に固定して接続するように設けられ、固定バックル本体 (3) をマジックテープ (登録商標) 構造に置き換えることができることを特徴とする請求項 1 に記載の取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕。

30

【請求項 4】

前記補助 B 枕 (4) は人体の頸椎曲線に基づいて弧を描くように設計され、且つ補助 B 枕 (4) の生地材質は A 主枕体 (1) の生地材質に一致するように保持して設けられ、補助 B 枕 (4) が A 主枕体 (1) の頂面に近い側辺位置に水平に突き合わせて設けられ、補助 C 枕 (5) は補助 B 枕 (4) から遠い側辺位置に水平に配置され、且つ互いに側辺が突き合わせて配布され、補助 C 枕 (5) は多曲線の設計をしていることを特徴とする請求項 1 に記載の取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕。

【請求項 5】

前記嵌合サイドストリップ (6) はいずれも補助側縁帯 (2) の側辺位置に対応して突き合わせて設けられ、安定バックル本体 (7) をマジックテープ (登録商標) 構造に置き換えることができ、複数の安定バックル本体 (7) はいずれも一端の嵌合バックル (13) を介して嵌合サイドストリップ (6) の側辺に固定して接続するように設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕。

40

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は首枕の技術分野に関し、具体的に取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕である。

【背景技術】**【0002】**

50

首枕は首の下に枕を置く枕で、主な役割は頸椎症の予防と治療である。人の正常な頸椎は弧状に湾曲していることが知られている。頸椎症とは、簡単に言えば頸椎が変形するものであり、つまり本来の生理的弧度が変化し、まっすぐになったことである。首は頭部と体の間をつなぐ中枢であり、神経、血管、脊髄などが通過する。頸椎がまっすぐになった後、これらの筋体組織にある程度の圧迫と損害をもたらし、それによって体に一連の疾病が現れた。

【 0 0 0 3 】

現在の首枕を使用する場合、一体型の枕体の構造であるため、必要に応じて調整して使用することができず、多様なニーズの人間の使用を満たすことができなくなり、且つ単一のスポンジ支持構造により枕の快適さが不十分であり、長時間の枕が落枕になることもある。

10

【 考案の概要 】

【 考案が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 4 】

本考案は、取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕を提供することを目的とし、上記背景技術に提出された現在の首枕を使用する場合、一体型の枕体の構造であるため、必要に応じて調整して使用することができず、多様なニーズの人間の使用を満たすことができなくなり、且つ単一のスポンジ支持構造により枕の快適さが不十分であり、長時間の枕が落枕になることもあるという問題を解決する。

【 課題を解決するための手段 】

20

【 0 0 0 5 】

上記の目的を達成するために、本考案は、以下のような技術的解決手段を提供する。

【 0 0 0 6 】

取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕であって、A主枕体を備え、前記A主枕体の両側辺に補助側縁帯が対称的に固定して縫合され、前記補助側縁帯の頂面に均一に固定バックル本体が固定して係合され、前記A主枕体の頂面に補助B枕が水平に配置され、前記A主枕体の頂面に補助C枕が水平に突き合わせられ、前記補助B枕と補助C枕の両側辺に嵌合サイドストリップが対称的に固定して縫合され、前記嵌合サイドストリップの側辺に安定バックル本体が均一に固定して係合され、前記A主枕体の内側辺に肌に優しい通気性層が設けられ、前記肌に優しい通気性層の内側辺に第1模造羽毛綿が充填され、前記固定バックル本体の底端に取付バックルが固定して接続され、前記補助C枕の内側辺に弾性ライニング層が設けられ、前記弾性ライニング層の内側辺に第2模造羽毛綿が充填され、前記安定バックル本体の底端に嵌合バックルが固定して設けられ、前記補助B枕の内側辺に通気性隔離層が設けられ、前記通気性隔離層の内側辺に3D粒綿が充填される。

30

【 0 0 0 7 】

本考案の一好ましい実施形態として、前記A主枕体の生地は起毛素材で加工して設けられ、且つA主枕体の縁部位置にファスナー開口構造が設けられ、補助側縁帯の数は2つであり、且つ2つの補助側縁帯の規格寸法は一致してA主枕体の2つの対称側辺位置に対称的に設けられる。

【 0 0 0 8 】

40

本考案の一好ましい実施形態として、前記固定バックル本体の数は複数であり、且つ複数の固定バックル本体は補助側縁帯の貫通穴の内部に互いに等間隔に貫通するように挿通して設けられ、固定バックル本体は他端の取付バックルによって補助側縁帯の側辺に固定して接続するように設けられ、固定バックル本体をマジックテープ（登録商標）構造に置き換えてもよい。

【 0 0 0 9 】

本考案の一好ましい実施形態として、前記補助B枕は人体の頸椎曲線に基づいて弧を描くように設計され、且つ補助B枕の生地材質はA主枕体の生地材質に一致するように保持して設けられ、補助B枕はA主枕体の頂面に近い側辺位置に水平に突き合わせて設けられ、補助C枕は補助B枕から遠い側辺位置に水平に配置され、且つ互いに側辺が突き合わせ

50

て配布され、補助 C 枕は多曲線の設計をしている。

【 0 0 1 0 】

本考案の一好ましい実施形態として、前記嵌合サイドストリップはいずれも補助側縁帯の側辺位置に対応して突き合わせて設けられ、安定バックル本体をマジックテープ（登録商標）構造に置き換えることができ、複数の安定バックル本体はいずれも一端の嵌合バックルによって嵌合サイドストリップの側辺に固定して接続するように設けられる。

【考案の効果】

【 0 0 1 1 】

従来技術と比べて、本考案の有益な効果は以下の通りである。

【 0 0 1 2 】

本考案は、補助 B 枕と補助 C 枕を A 主枕体の頂面に水平に配置してスプライス配布を形成し、且つ縁部位置は、嵌合バックルを複数列の取付バックルに対応して係合して設けた後、補助 B 枕と補助 C 枕の固定取付操作を形成し、且つ異なる高さの取付バックルで固定して接続すると、高さを調整して使用することができ、安定バックル本体と固定バックル本体をマジックテープ（登録商標）構造に交換して接着する際に固定取付操作を行うこともでき、人体の頭と頸部の曲線にフィットした設計であり、首を伸ばして、頭の圧力を解放して、個人の好みに応じて任意に組み合わせることができ、自分に最適な角度を見つけることができる。A 枕体部分：生地は起毛材質で加工され、柔らかく、肌に近く、第 1 模造羽毛綿を充填し、もちもちの手触りで、低枕が好きな人は柔らかいもちもちの圧力リリースを使って自然に快適にすることができる。B 白色首枕：人体の頸椎曲線に基づいて弧を描くように設計され、3D 粒綿を充填し、頸椎を強力に支え、牽引し、首の疲労を緩和する。C 灰色首枕：多曲線の設計をしており、任意の回転方向で、肩と首の弧度にフィットできるようにして、第 1 模造羽毛綿を充填するため、柔らかい弾性があり、ゼロ圧力で眠る。中間隙間：耳への圧力なし、顔への圧力なし、圧力ゼロ、バックル配列設計、簡単な分解、高さの自由な調整、方向の独立した選択で、B 枕と C 枕の弧形口が互いに突き合わせて組み合わせると、人間工学的なデザインに合って、頭部の圧力を解放して、支持力がありながら柔らかく快適な包み感があり、自然に秒で眠る睡り、B 枕と C 枕の弧形口を互いに背に向けて組み合わせると、首を支え、緩やかな枕の円弧は、肩と首の隙間によくフィットし、頸椎の生理曲線を維持し、寝返りを簡単にして寝違えることがない。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 3 】

本考案のその他の特徴、目的および利点は、以下の図面を参照して非制限的な実施例について詳細に説明することにより、より明らかとなる。

【図 1】取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕の斜視構造模式図である。

【図 2】取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕の A 主枕体の正面断面積続細部の構造模式図である。

【図 3】取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕の補助 C 枕の正面断面積続細部の構造模式図である。

【図 4】取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕の補助 B 枕の正面断面積続細部の構造模式図である。

【考案を実施するための形態】

【 0 0 1 4 】

図 1 ~ 4 を参照し、本考案の実施例において、取り外し可能な自由に組み合わせた首ケア枕であって、A 主枕体 1 を備え、A 主枕体 1 の両側辺に補助側縁帯 2 が対称的に固定して縫合され、A 主枕体 1 の生地は起毛素材で加工して設けられ、且つ A 主枕体 1 の縁部位置にファスナー開口構造が設けられ、補助側縁帯 2 の数は 2 つであり、且つ 2 つの補助側縁帯 2 の規格寸法は一致にして A 主枕体 1 の 2 つの対称側辺位置に対称的に設けられ、補助側縁帯 2 の頂面に固定バックル本体 3 が均一に固定して係合され、固定バックル本体 3 の数は複数であり、且つ複数の固定バックル本体 3 は補助側縁帯 2 の貫通穴の内部に互いに等間隔に貫通するように挿通して設けられ、固定バックル本体 3 は他端の取付バックル

10

20

30

40

50

10を介して補助側縁帯2の側辺に固定して接続するように設けられ、固定バックル本体3をマジックテープ（登録商標）構造に置き換えることができ、A主枕体1の頂面に補助B枕4が水平に配置され、A主枕体1の頂面に補助C枕5が水平に突き合わせられ、補助B枕4は人体の頸椎曲線に基づいて弧を描くように設計され、且つ補助B枕4の生地材質はA主枕体1の生地材質と一致するように保持して設けられ、補助B枕4はA主枕体1の頂面に近い側辺位置に水平に突き合わせて設けられ、補助C枕5は補助B枕4から遠い側辺位置に水平に配置され、且つ互いに側辺が突き合わせて配布され、補助C枕5に多曲線の設計をしており、補助B枕4と補助C枕5の両側辺に嵌合サイドストリップ6が対称的に固定して縫合され、嵌合サイドストリップ6の側辺に安定バックル本体7が均一に固定して係合され、A主枕体1の内側辺に肌に優しい通気性層8が設けられ、肌に優しい通気性層8の内側辺に第1模造羽毛綿9が充填され、固定バックル本体3の底端に取付バックル10が固定して接続され、補助C枕5の内側辺に弾性ライニング層11が設けられ、弾性ライニング層11の内側辺に第2模造羽毛綿12が充填され、安定バックル本体7の底端に嵌合バックル13が固定して設けられ、嵌合サイドストリップ6はいずれも補助側縁帯2の側辺位置に対応して突き合わせて設けられ、安定バックル本体7をマジックテープ（登録商標）構造に置き換えることができ、複数の安定バックル本体7はいずれも一端の嵌合バックル13を介して嵌合サイドストリップ6の側辺に固定して接続するように設けられ、補助B枕4の内側辺に通気性隔離層14が設けられ、通気性隔離層14の内側辺に3D粒綿15が充填される。

10

【0015】

20

本考案の動作原理は以下の通りである。

【0016】

A主枕体1を水平に配置した後、補助B枕4と補助C枕5をA主枕体1の頂面に水平に配置してスプライス配布を形成し、且つ縁部位置は、嵌合バックル13を複数列の取付バックル10に対応して係合して設けた後、補助B枕4と補助C枕5の固定取付操作を形成し、且つ異なる高さの取付バックル10を固定して接続すると、高さを調整して使用することができ、安定バックル本体7と固定バックル本体3をマジックテープ（登録商標）構造に置き替えて接着する際に固定取付操作を行ってもよい。

【0017】

30

以上のものは、本考案の好ましい具体的な実施形態にすぎないが、本考案の保護範囲はこれに限定されるものではなく、当業者の誰でも、本考案で開示された技術範囲内で、本考案の技術的解決手段及びその考案構想に基づいて行った等価置換又は変更は、いずれも本考案の保護範囲内に含まれるべきである。

【符号の説明】

【0018】

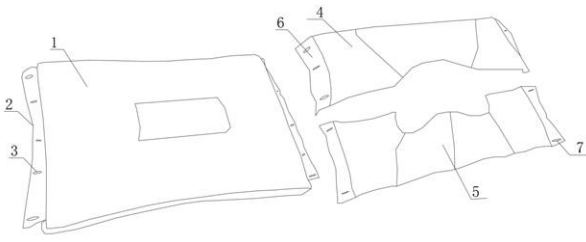
- 1、A主枕体
- 2、補助側縁帯
- 3、固定バックル本体
- 4、補助B枕
- 5、補助C枕
- 6、嵌合サイドストリップ
- 7、安定バックル本体
- 8、肌に優しい通気性層
- 9、第1模造羽毛綿
- 10、取付バックル
- 11、弾性ライニング層
- 12、第2模造羽毛綿
- 13、嵌合バックル
- 14、通気性隔離層
- 15、3D粒綿。

40

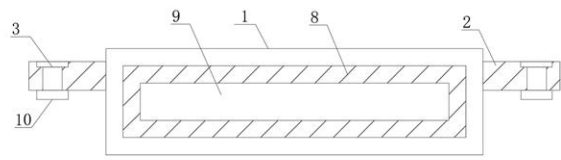
50

【図面】

【図 1】

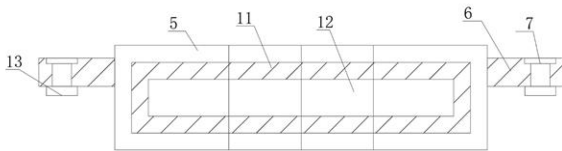


【図 2】

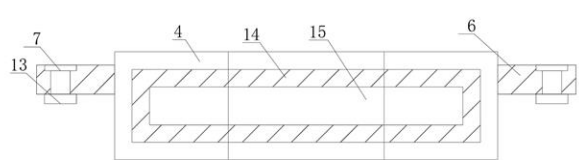


10

【図 3】



【図 4】



20

30

40

50

フロントページの続き

場A座601室